

第20回福山駅前デザイン会議

2024年10月18日（金） 14:00～16:00

コワーキングスペースtovio
（エフピコRiM 1階 iti SETOUCHI内）

agenda
01

福山駅周辺デザイン計画更新の構成について



- ✓ 計画を立てるときには、「戦略」と「戦術」の2つの柱を明確に書き分けることが重要である。
- ✓ 駅周辺エリアならではの表現を追加すべきである。
- ✓ エリアの価値を高める戦略の中で、人を中心とした取組を前面に出すのと同じように、車などの交通体系も具体的な表現を加えると分かりやすい。
- ✓ 誰がどんな意見を出しているのかをフラットに整理して発信し、判断材料を整えることが重要。情報が正しく伝わらないことが事業を進める上での最大のリスクである。
- ✓ 情報発信においては、正しく伝えることと、賛成の意見も反対の意見もフラットに出して俯瞰することを、常に行う必要がある。
- ✓ 官民連携で進めること、市民に丁寧に説明すること、または実験を行うなど状況に応じたやり方で進めることが、戦略に記載されていれば、戦略とめざす姿が明確になる。
- ✓ 各取組の項目の解像度を上げ、具体的な言葉を使う必要がある。「新しい働き方」や「都市型産業」などが何を意味するのか具体的に示すことで、福山らしさや全体のイメージが湧いてくる。



agenda
02

エフピコRiM 他フロアの活用について



- ✓ 新しい働き方として民間の「ママスクエア」（ママと子どもが一緒に出勤して、子どもを預けて仕事できるキッズスペース付ワーキングスペース）があるので、研究してほしい。
- ✓ 「変なのぼりを出す」や「開かれたオフィス空間なのに、壁で仕切って、中で何が行われているか分からないオフィス」ということがないよう「デザインの規制」をより厳しくすることによって、いい客が来てくれる。
- ✓ オフィスのあり方は柔軟に考えて、他ではやっていない規制をしてほしい。規制というと厳しくする意味もあるが、緩くする意味もある。

- ✓ 行動のパラダイムシフトが起こるような、イノベーションの起こりやすい緩さを入れていくことも、新しいリムの発信するものになる。
- ✓ デザインレギュレーションの話だけでなく、オペレーションや運営のあり方、エリア価値を高めるということも重要である。安売りを避け、どんな企業でも受け入れるということは適切ではない。

agenda
03

福山駅周辺の駐輪場の暫定整備について



- ✓ 利便性だけでなく、防犯カメラの設置や民間による管理者の設置など、盗難防止を含む安心安全の視点も必要。
- ✓ 駐輪場の利用については、過度な負担をかけない範囲で受益者負担でもよいのではないか。
- ✓ 商店街で、既存のパーキングを借り上げて、マネジメントするような方法も考えられる。
- ✓ 駐輪場と駐車場は、まちに来るための重要なインフラであるため、車と自転車の移動範囲を考慮しながら連動して考えるべきである。
- ✓ 仮設駐輪場の整備を社会実験と位置付け、運用や課題を明確にし、期間を決めて運用することが重要。仮設でも安全に美しく停められるようにするべきである。

report
01

福山駅周辺の観光の取組について



報告

- ・ 福山駅を起点に、鞆の浦や南部エリアへの観光促進、歴史文化の発信、産業振興に取り組んでいる。
- ・ 世界バラ会議福山大会を観光PRの契機とし、福山駅を起点とした観光産業の振興をめざす。
- ・ 今後の観光戦略では、JRとの連携が欠かせず、駅前整備や周遊観光、インバウンド誘客などの促進を図る。



意見

- ・ 鞆の浦の魅力がSNSで広まり、インバウンド整備が進む中、ものづくりに着目した産業観光の新しい体験価値を戦略化してほしい。
- ・ JRは福山市と連携し、世界バラ会議福山大会などの具体的な取組を進め、福山駅周辺の魅力向上に取り組む。
- ・ 市とJRで連携協定を結ぶなどし、ハード・ソフトの両面でスピード感を持って取組を進めていくべきではないか。

